写真　仙洞御所　大宮御所 ―― 八
仙洞御所全景―八　北池―一〇　紅葉橋―一九　紅葉山―二二　南池―二六
醒花亭―三六　南池洲浜―四二　南池苑路―五〇　又新亭―五四　大宮御所―五八
解説　西和夫 ―― 五九
写真　修学院離宮下御茶屋 ―― 八〇
修学院離宮全景―八〇　御茶屋山と棚田―八二　表総門―八四　御幸門―八六
下御茶屋苑路と寿月観―八八　東門―一一　棚田―一一二
解説　西和夫 ―― 一一四
写真　修学院離宮中御茶屋 ―― 一二二
松並木の苑路―一二二　中門―一二四　中御茶屋苑路―一二五　客殿―一三〇　楽只軒―一四四
解説　西和夫 ―― 一四六
写真　修学院離宮上御茶屋 ―― 一五〇
上御茶屋全景―一五〇　御成門―一五二　上御茶屋苑路と隣雲亭―一五三

滝見燈籠―一六六　雄滝（大滝）―一六七　楓橋―一六八　窮邃亭―一七一
土橋―一七六・一八一　千歳橋―一七九　浴龍池と苑路―一八〇　西浜―一八八
解説　西和夫―一八九
仙洞御所　寛永文化の中心地　西和夫―六三
後水尾院とその時代　熊倉功夫―七〇
修学院離宮図屏風を読む　小林忠―一一六
修学院離宮　後水尾院が情熱を傾けた別荘　西和夫―一九九
コラム　1　御所透かし　景観に合った優美な樹形―六八
2　修学院離宮客殿の飾金具　女院御所の華やかさを伝える―一四八
3　描かれた二条城行幸―一九二
4　その後の修学院離宮　江戸から明治へ―一九六
仙洞御所配置図―六
修学院離宮配置図―七八
仙洞御所・修学院離宮略年表―二〇六